

令和7年度伊那弥生ヶ丘高等学校 第1回学校評議員懇談会 記録

1 日 時 6月9日(月) 15:00~17:05

2 場 所 本校大会議室

3 参加者

(1) 学校評議員：※五十音順、敬称略 計7名中5名出席

伊藤まさ江(元伊那中央病院看護部長)、大野田亜里沙(P T A副会長)
下島典子(同窓会長)、田畑和輝(社会保険労務士法人田畑事務所所長)、
細見昭(信州大学農学部助教)

※欠席：春日博(西町区長)、三ツ井邦仁(伊那中学校長)

(2) 職 員：校長、教頭、事務長、教務主任、進路指導主事、学習指導係主任
生徒指導主事、保健主事、生徒会係、P T A係主任、学校職員代表

4 内 容

(1) 授業参観 15:15~15:55 全学年・全教科で公開

(2) 懇談会 16:00~17:05

- ① 学校長挨拶
- ② 自己紹介
- ③ 本校教育活動の概要説明…学校評価、進路指導係、学習指導係、生徒指導係、生徒会係

[質疑応答]

- a. 学校評議員：授業見学では、ノートがよく書けている生徒の内容について全体で共有している場面が見られた。大学でもよく書けたレポートを共有している。
- b. 学校評議員：保健の授業で性器官の名称と働きについて授業が行われていた。男女一緒に学習する上で指導上苦勞することはないか。
- c. 授業担当：男女間で変に意識しないように配慮しながら行っている。
- d. 学校評議員：文系進学者が少なかったのはどんなことが考えられるか。
- e. 進路指導係：例年並みであるが、男子の医療系進学者が増えた。

- f. 学校評議員：令和 10 年度に向かって学校は徐々に変わっていく。クラブ活動や生徒会活動等、危惧する生徒も出てくると思われる。今後のクラブ活動や生徒会活動等の学校のあり方について考えていく必要がある。
- g. 学校評議員：県の特徴化推進事業 高校生による県立高校の魅力化プロジェクトの計画について、生徒が自らの企画提案により計画を進めることには無理があるように感じる。先生方の負担が増えるのではないか気になる。
- h. 学校長：県立高校の魅力化プロジェクトについては、8 月末までに計画書を提出することになっている。弥生祭を終えてから生徒会を中心に検討する予定。伊那北の生徒会からは、本校とのコラボ企画の話が出てきている。まずはできることから考えていきたい。
- h. 学校評議員：クラブ活動の編成を今後考えていく際に、入学早々に考えさせるのは負担が大きい。生徒たちの総意で丁寧に交流していくことが大切。
- i. 学校評議員：今後の弥生祭について、統合していく際にどう運営していくか。これまで地域で関わってきた方々の声を聞くことが大切。当時、検討を進めていた担当がいなくなった時でも困らないよう引き継いでいってほしい。
- j. 学校評議員：両校生徒会でこの先いろいろなことを一緒にやってほしい。令和 10 年度の文化祭をどうやっていくのか。3 校合同なのか。伊那北と新校が合同でうちが単独というのも困る。
- k. 学校評議員：議論できる場を提供していくことが大切。毎年生徒の意識の中でどう考えていくのかという機会は必要。
- l. 学校評議員：先生方は生徒に対してどんな気持ちで日頃授業に臨んでいるのか見学させていただいた。今後グループワークで生徒の発言が出てくるような授業も見学してみたい。

④ 諸連絡

⑤ 閉会